

かわさきチャレンジ・3Rニュース

キレイクン

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



第10号

平成21年3月発行



家庭から出るごみの種類・割合はどうなっているの？

～市民ごみ排出実態調査結果(速報版)からみた川崎市の家庭系ごみ～

市では、市民の家庭生活から発生するごみ(粗大ごみを除く)の量や質を把握・検証し、今後の分別収集や減量化施策を検討するため、5年に1度、「市民ごみ排出実態調査」を実施しています。この調査実施年にあたる昨年10月に調査を行い、家庭から出るごみの種類や割合を集計しました。

◇◇家庭からどんなごみが出ているの？◇◇

家庭から出るごみは、紙類(36.9%)、生ごみ(29.8%)、プラスチック類(13.8%)で全体の8割以上を占めています。(図1)

このため、家庭でできるごみの減量には、地域で行われている資源集団回収への協力や、生ごみの減量が有効であることが分かります。

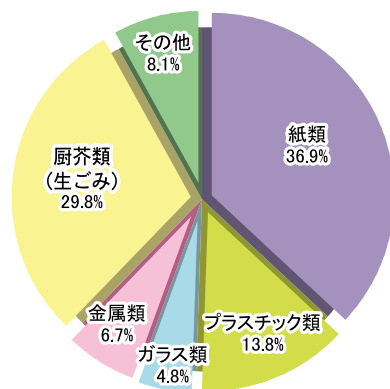


図1 家庭から出るごみの組成(重量比)

◇◇リサイクルが可能なごみの割合とは？◇◇

ごみとして出されたものの中で、リサイクルが可能なごみ※は55.4%を占めています。

このうち、紙類(新聞、雑誌・書籍、ダンボール、紙パック、容器包装材、チラシ・ダイレクトメール等)の割合が最も多く33.1%を占めました。(図2)

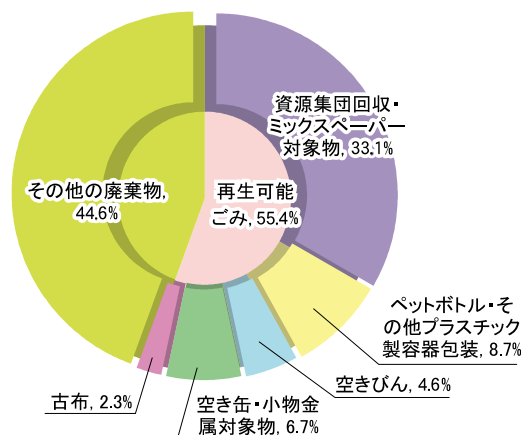


図2 ごみの中でリサイクルが可能な割合(比率%は、小数点第二位を四捨五入しています。)

- ※「リサイクルが可能なごみ」とは…
- ・市の分別収集品目
 - ・資源集団回収の対象品目
 - ・ミックスペーパー(22年度中に全市で分別収集予定)
 - ・その他プラスチック製容器包装(22年度中に一部地域でモデル収集予定)



家庭から出るごみも色々な種類があるんですね。市ではごみの減量・リサイクルをさらに進めていくため、今後、ミックスペーパーやその他プラスチック製容器包装の分別収集を行う予定です。市民の皆様も、資源集団回収への協力やごみ出しの際の分別の徹底、生ごみの水切りといったことから、ごみの減量・リサイクルにぜひご協力をお願いします。

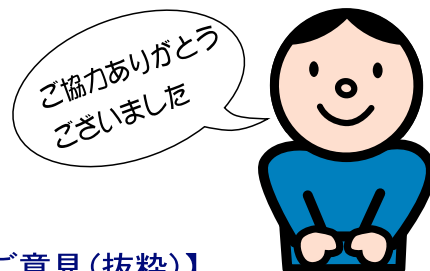


◆◆報告◆◆

かわさきチャレンジ・3R行動計画改定素案への市民意見募集結果を発表します

平成20年8月27日から9月25日までに実施した「市一般廃棄物処理基本計画(かわさきチャレンジ・3R)行動計画(改定素案)」の市民意見募集には、75件のご意見をいただきました。

市では現在、平成21年4月の公表を目指し、行動計画の改定作業を進めています。改定した際は、本誌で内容を発表する予定ですので、ぜひご期待ください。



【市民の方からいただいた具体的施策に対する主なご意見(抜粋)】

具体的施策	主なご意見(要旨)
資源集団回収事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 資源集団回収を実施していることが周知されていないことや、回収頻度が低いことで、参加世帯はごく一部に限られている地域もあり、本事業自体に限界があると思わざるを得ない。 資源集団回収は、地域でゴミや資源について考える機会となる良い手法であり、本事業を拡大していくためには、全市民が参加しやすい仕組みづくりが必要である。町内会・自治会等へ資源集団回収を実施するよう積極的に働きかけるとともに、実施団体の活動内容について、地域へ周知して欲しい。
ミックスペーパー・その他プラスチック製容器包装の分別収集の実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施についてはおおむね賛成だが、全市実施までの期間が長いことから、早期化を図ってほしい。
分別排出の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの排出マナーが悪い市民も少なくないことから、ゴミ出しルールの周知徹底や排出指導といった取組を実施し、ゴミ集積所の環境改善が必要である。
廃蛍光管リサイクルの実施	<ul style="list-style-type: none"> 廃蛍光管のモデル回収についてはおおむね賛成だが、市民が排出しやすい公共施設や、家電量販店等に常設の回収場所を設置するなど、排出しやすい仕組みづくりを進めてほしい。
生ごみリサイクル関係	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみリサイクルの推進については、おおむね改定素案に賛成であるが、家庭での生ごみ堆肥化・肥料化を推進するために、市民の活動を支援・応援する体制の整備が必要である。 生ごみからできた堆肥・肥料の使用先の確保が必要である。

上記意見も含めた75件のご意見については、ご意見に対する市の考え方と併せて市ホームページに公表しています。(URL : <http://www.city.kawasaki.jp/30/30genryo/home/index/index.htm>)

「容器包装ダイエット」に取り組む企業も応援しています！

埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市からなる八都県市では、「容器包装ダイエット宣言」に賛同した企業が実践している容器包装の減量化に向けた取組をホームページ上で紹介しています。

URL : <http://www.diet-youki.jp/>





地球にやさしい 環境にやさしい

リユース食器を使って イベントごみを減らそう!



【リユース食器ってなあに?】

飲食を伴うイベントやお祭りなどでは、使い捨ての紙コップやプラスチック容器などのごみが発生します。リユース食器は、何度も繰り返し洗って使用できる(リユースできる)食器で、使い捨て容器の代わりに使います。

リユース食器の使用回数が増えるほど、使い捨て容器を利用する場合と比較して、ごみの量やエネルギー消費量、二酸化炭素(CO₂)の排出量といった環境へ与える負荷量が少なくなり、地球温暖化の防止、地球環境の保全につながります。



【目的と効果】

1. 3R(リデュース(発生・排出抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用))の推進
2. ごみ処理の手間・費用の削減
3. 地球温暖化の防止に向けた地域の取組を社会にアピール

【平成20年度のリユース食器活用例】

1. 第31回多摩区民祭 10月18日(土)

多摩区民祭では、焼きそばやうどんなどを販売する5つの店舗で、市内区民祭としては初めてリユース食器を使用し、地域通貨「たま」運営委員会や多摩区役所職員等とリユース食器の活用を呼びかけました。



うどんのいったリユース食器をもつ来場者

2. たまりバーサイドフェスティバル2008 11月3日(祝・月)

二ヶ領せせらぎ館近くの河川敷で市民の方々が音楽やダンス、ミュージカルを披露する「たまりバーサイドフェスティバル2008」において、リユース食器を使用しました。川崎産の野菜を使った「多摩鍋」に300個のリユース食器を使用し、企画運営に参加した大学生等によるリユース食器の普及広報が行われました。



リユース食器を使った「多摩鍋」の販売風景

3. 2008川崎国際多摩川マラソン 11月16日(日)

2008川崎国際多摩川マラソンでは、等々力陸上競技場内のゴール付近の給水所でリユース食器を使用し、約4,400個の紙コップごみを削減しました。また、リユース食器の回収率は98.2%と高く、選手の皆様に多大なご協力をいただきました。



給水所で使用されたリユース食器

問い合わせ先: 環境局廃棄物政策担当 電話 044(200)2580



家庭から出た生ごみを農家で活用！ ～生ごみリサイクルモデル事業のご紹介～

市では、家庭系ごみの約3割を占める生ごみの減量・リサイクルに向けた取組を進めています。そのひとつとして現在、生ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組む市民団体、市内農家、市の協働により、家庭から出た生ごみを堆肥化して農家の野菜栽培に活用するモデル事業を実施しています。



43世帯の家庭が生ごみの減量と分別に協力



市の車両で生ごみを回収し、畑に運搬

地域内循環

協力農家の野菜栽培に生ごみ堆肥を活用
収穫した野菜は協力家庭の食卓に



市民団体が協力農家の畑にある堆肥場で生ごみを堆肥化



現在、麻生区・多摩区の43世帯、麻生区古沢・宮前区菅生の農家、市が協働し、生ごみの出し方や生ごみ堆肥の効用などに関する検証を行っています。

このモデル事業を踏まえ、市民活動としての地域内循環の可能性についても検討していきます。



ヨネッティー堤根・王禅寺がリニューアルオープン！！

ヨネッティー堤根

温水プールの改修工事のため、3月31日(火)まで休館し、**4月1日(水)**から営業を再開します。

<問い合わせ先>

堤根余熱利用市民施設
川崎区堤根73番地1
電話：044(555)5491

老人休養施設は通常どおり営業しております。

ヨネッティー王禅寺

施設内整備のため、3月31日(火)から4月2日(木)まで休館し、**4月3日(金)**から営業を再開します。

<問い合わせ先>

王禅寺余熱利用市民施設
麻生区王禅寺1321番地
電話：044(951)3636



古着類と廃蛍光管を拠点回収しました。～ご協力ありがとうございました～

<古着類の拠点回収モデル事業>

ご家庭で不用になった古着を再利用するため、今年度も古着類の発生量が多い衣替えの時期に合わせて拠点回収を実施し、約44tの古着類を回収しました。

回収場所	実施期間(平成20年)	回収量
生活環境事業所 (南部・川崎・中原・宮前・多摩)	6月6日(金)～6月14日(土)	15,700kg
	11月21日(金)～11月29日(土)	13,260kg
高津区役所	11月10日(月)～11月14日(金)	3,550kg
麻生区役所	11月22日(土)、11月29日(土)	11,890kg



合計
44,400kg

<廃蛍光管の拠点回収モデル事業>

家庭から排出される廃蛍光管をリサイクルするため、今年度から、生活環境事業所で拠点回収するモデル事業を始めました。20年9月1日～15日及び20年12月15日～21年1月15日の2回で、約4,000本の廃蛍光管を回収しました。



市では来年度も拠点回収を実施する予定です。実施時期などについては3Rニュースや市政だより、チラシ等でお知らせしますので、ぜひご協力をお願いいたします。



液晶テレビ・プラズマテレビ・衣類乾燥機は、市では収集しなくなります。

家電リサイクル法の改正により、対象となる家電品目が追加され、4月1日から「液晶テレビ」・「プラズマテレビ」・「衣類乾燥機」は、過去に購入または新たに購入した電気店が引き取るなどし、家電メーカーがリサイクルすることになりました。

<問い合わせ先>

事業所	担当地区	電話番号
南部生活環境事業所	大師地区・田島地区	044(266)5747
川崎生活環境事業所	川崎中央地区・幸区	044(541)2043
中原生活環境事業所	中原区	044(411)9220
宮前生活環境事業所	高津区・宮前区	044(866)9131
多摩生活環境事業所	多摩区・麻生区	044(933)4111

<家電リサイクル法の対象品目 ※下線が今回追加された品目>

エアコン、テレビ(ブラウン管・液晶・プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機

編集後記

先日、我が家で15年以上使用した洗濯機がとうとう壊れてしまいました。これまで何度か故障しましたが、そのたびに修理で乗り切り、我が子より長いお付き合いをしてきたので、電気店にリサイクル料金を払い、回収してもらうときは惜別の思いでした。今後家電メーカーでリサイクルされ、新しく生まれ変わることですが、まさに苦肉の洗濯(選択)って感じでした。長い間お疲れ様でした。(N)

編集・発行

〒210-8577 (住所はなくても届きます)
川崎市環境局廃棄物政策担当
電話：044(200)2580 FAX：044(200)3923
電子メール：30haise@city.kawasaki.jp